平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業委員会運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業委員会費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農業委員、農家	農地法に基づく許可申請、届出書等の審査及び、農地利用状況の調査等を行い、農地利用の適正化を図ります。

事業の実施内容

・農業委員報酬

予算額	5,603千円
決算額	5,541千円

・臨時職員賃金

予算額	1,227千円
決算額	1,057千円

・旅費

予算額	645千円
決算額	466千円

・会長交際費

予算額	10千円
決算額	8千円

・需用費(消耗品費・印刷製本費)

予算額	188千円
決算額	134千円

・通信運搬費

予算額	56千円
決算額	55千円

・負担金、補助及び交付金

予算額	91千円
決算額	91千円

↑　平成19年度に行った農地パトロールの様子

事業の成果

農地パトロールを行い、農地の違反使用に対して勧告等を行うことで農地利用の改善を図りました。また農地流動化に向け遊休農地を調査を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,820	7,352		1,034		446	5,872

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業促進に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業総務費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南部地区さとうきび協議会ほか15団体	県内各種協議会等に対して負担金を支出することで、農業の促進・振興を図ります。

事業の実施内容

○農業促進に係る経費　　予算額　3，453千円　　決算額　3，435千円

主な負担金等のの支出先と支出額

1. 南部地区農業用プラスチックリサイクルセンター負担金　1，394千円
2. 農業共済事業運営負担金　578千円
3. 南部地区さとうきび生産振興協議会負担金　479千円
4. 町農業用廃プラスチック処理対策協議会　350千円
5. 沖縄県園芸農業振興基金協議会負担金　109千円
6. その他負担金及び出資金　543千円

↑南部地区農業用プラスチックリサイクルセンターに搬入される農業用ビニール

事業の成果

各種協議会の運営及び野菜の価格安定、農産物の販売促進ためのフェスティバル開催等に寄与しました。　また、町廃プラ回収事業では、21トンの農業用ビニールが回収され、南部地区プラスチックリサイクルセンターで処理されました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,453	3,435					3,435

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業経営基盤促進対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
す	農宇業経営基盤強化促進法の経営改善計画の認定を受けた農業者で農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）を利用し、約定利息を支払った農業者	農業者や若い農業経営者が安定した農業経営ができるように、支援することを目的とする。

事業の実施内容

○ 認定農業者に対して借入金の利子を補給助成し支援を行いました。

・経営基盤強化資金補助金　　予算額 ： 245千円　　決算額 ： 245千円

補助を受けている農家　　2農家

・消耗品費　　予算額 ： 120千円　　決算額 ： 120千円

（参照）
前年度（平成18年度）補助金

経営基盤強化資金補助金 262，275円

補助を受けている農家　　2農家

事業の成果

農業経営者の資金借入に対し、利子の一部を補給助成することにより、借入返済が軽減され、経営の安定が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	365	365		202			163

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	野菜振興対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農家	県の拠点産地認定を受けている「かぼちゃ」の生産量向上のためミツバチの放飼を行います。また生産意欲を高めるため町内の優良農家を表彰します。

事業の実施内容

かぼちゃ出荷量競作会報償費

予算額	42千円
決算額	41千円

ミツバチロゴマーク作成謝礼金

予算額	30千円
決算額	27千円

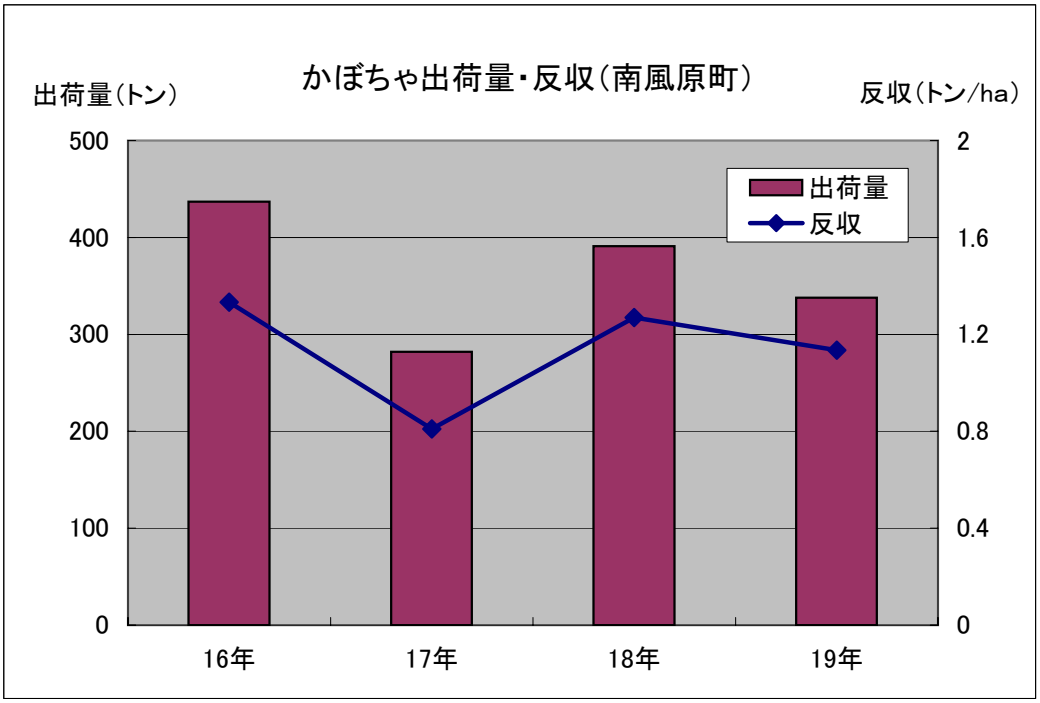
ミツバチ交配委託料

予算額	378千円
決算額	378千円

消耗品費

予算額	48千円
決算額	31千円

▲ H19.12月に行われたミツバチの放飼式の様子



事業の成果

平成19年度のかぼちゃ出荷量は、花粉交配時期における天候不良による着果不良等が影響し、出荷ピーク時期における生産量減少により、出荷量は対前年比で減少となりました。しかし、ミツバチを放飼したことで天候不良時期においても、従来の手交配に比べ高い生産量を確保することができ、一定の事業効果を得ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	498	477				189	288

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	花き振興対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	花き農家	ストレリチアの更なる生産向上と農家の生産意欲を高めます。

事業の実施内容

○町内のストレリチア農家で、生産本数の多かった方に表彰状と副賞を贈りました。

・ストレチア競作会報償

予算額　　21千円　　決算額　　21千円

平成19年度競作会結果

	生産本数	副賞
1位	175，480本	8，000円相当の商品
2位	172．540本	7，000円相当の商品
3位	121，490本	6，000円相当の商品

事業の成果

競作会を行うことで、花き農家の生産意欲を高めることに寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21	21					21

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	さとうきび振興対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	さとうきび生産農家	奨励品種の普及促進及び病害虫防除ための薬剤購入費の一部を補助することにより、さとうきびの生産安定と品質の向上に寄与します。また、優良農家を表彰し、生産意欲を高めます。

事業の実施内容

○さとうきび種苗の肥培管理を農家へ委託し、生育したさとうきびの苗を生産農家に無償で供給しました。

・苗ほ設置委託料　　予算額　：　748千円　　決算額　：　731千円
（内訳）
春植苗ほ設置　　900坪（30a）　　委託費　510千円
夏植苗ほ設置　　395坪（13a）　　委託費　221千円

さとうきび種苗ほ設置事業（年度毎）

年度	種別	奨励品種	面積 坪	面積 アール	委託費（千円） 小計	委託費（千円） 合計
平成13年度	春植苗ほ設置		1,200	40	720	1,080
	夏植苗ほ設置		600	20	360	
平成14年度	春植苗ほ設置		1,500	50	900	1,260
	夏植苗ほ設置		600	20	360	
平成15年度	春植苗ほ設置		1,500	50	900	1,260
	夏植苗ほ設置		600	20	360	
平成16年度	春植苗ほ設置		1,500	50	900	1,098
	夏植苗ほ設置		330	11	198	
平成17年度	春植苗ほ設置		1,350	45	765	1,037
	夏植苗ほ設置		480	16	272	
平成18年度	春植苗ほ設置		1050	35	595	748
	夏植苗ほ設置		270	9	153	
平成19年度	春植苗ほ設置	農林8号	900	30	510	731
		農林10号				
		農林17号				
		農林20号				
	夏植苗ほ設置	農林8号	420	14	221	

○その他
・さとうきび競作会報償　　予算額　：　63千円　　決算額　：　49千円
・需用費（消耗品費、食料費）　　予算額　：　645千円　　決算額　：　614千円

事業の成果

平成19年度は、春植21人（9500坪）、夏植15人（4400坪）の採苗希望者に苗ほを提供することができました。また、病害虫防除のための薬剤購入補助をすることにより、安定した生産を確保することができました。優良農家を表彰したことにより農家の生産意欲を高め、さとうきび振興に寄与することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳 国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,456	1,394		50			1,344

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業共済普及推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農家	園芸施設共済に加入した農家へ共済掛け金の一部を補助することにより、農家の負担を軽減し共済加入者を増やします。

事業の実施内容

○園芸施設（ビニールハウス等）や施設内の作物にかかる共済掛金の一部負担を行いました。

農業共済事業普及推進補助金

予算額　　804千円　決算額　　509千円

＜平成19年度　掛金助成実績＞

戸　数　54 戸
棟　数　92 棟
面　積　59，772 ㎡

参考資料
・助成金の推移状況

	戸数	棟数	面積（㎡）	助成金額（円）
H17	52	93	68,871	703,000
H18	54	92	67,109	562,000
H19	54	92	59,775	509,000

事業の成果

農家掛金の一部を助成することによって、農家の負担軽減に寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	804	509		424			85

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ミバエ地上防除事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内	果樹・農作物に大きな被害を及ぼすミバエ類の侵入を防除します。

事業の実施内容

○県内において、ウリミバエは現在、根絶したと言われております。しかし、農作物の輸入の増加及び人に出入りが多いため、常に侵入の危険性はあります。南風原町では、沖縄県病害虫防除センターより委託を受けて、年に4回、誘殺テックス板のつり下げによる防除を実施しました。
・ミバエ地上防除委託料

予算額　　314千円　決算額　　314千円

↑

テックス板をつり下げている様子です。 →

事業の成果

ミバエ類の防除に効果を発揮し、平成5年以降沖縄県内においてのウリミバエ侵入の報告はありません。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	314	314		314			0

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業団体育成強化			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町普及事業連絡協議会	農業の振興及び農家生活の改善に必要な研修、又は情報の交換並びに各農業団体相互の連携を図ります。

事業の実施内容

・町普及事業連絡協議会補助金

予算額	550千円
決算額	550千円

○平成19年度の主な活動
・下部組織として次の団体がそれぞれ活動をおこないました。
　農友会
　農業青年クラブ
　農村生活研究会

←「今帰仁の駅　そーれ」
農産物直売所の経営について
講習を受けている様子。

「沖縄県農業研究センター →
名護支所」での農業視察の様子。

事業の成果

町内の農業者各団体が情報・意見交換の場として活動し、新規就農者支援の観点からも仲間意識が形成されました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	550	550					550

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ビニールハウス設置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農家	鉄骨・パイプ等のビニールハウスの設置にすることより、風水害を避けることができ、収益性の高い作物への転換や生産拡大で安定した農業の確立につなげます。

事業の実施内容

○農林業の生産向上を図るため、鉄骨・パイプ等を利用した構造物でビニールハウスを設置した経費に対して補助を行いました。

・ビニールハウス設置補助金

予算額　　500千円　決算額　　450千円

【平成19年度の補助実績】

2件　　450，000円

○参考（設置費に対する補助限度額）

設　置　費	補助額（最高限度額）
100万円以上200万円未満	50，000円
200万円以上300万円未満	100，000円
300万円以上400万円未満	150，000円
400万円以上500万円未満	200，000円
500万円以上600万円未満	250，000円
600万円以上700万円未満	350，000円

↑　平成19年度に補助を受けて設置されたビニールハウス

事業の成果

平成19年度は2名の農家が町の補助を受けてビニールハウス設置を行い、費用負担の軽減及び安定した農業の確立に寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	500	450					450

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地力増強対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農家	土づくり用堆肥の購入補助をすることで農家の負担を軽減するとともに、土地に栄養を与え、作物を育てる力を強くします。

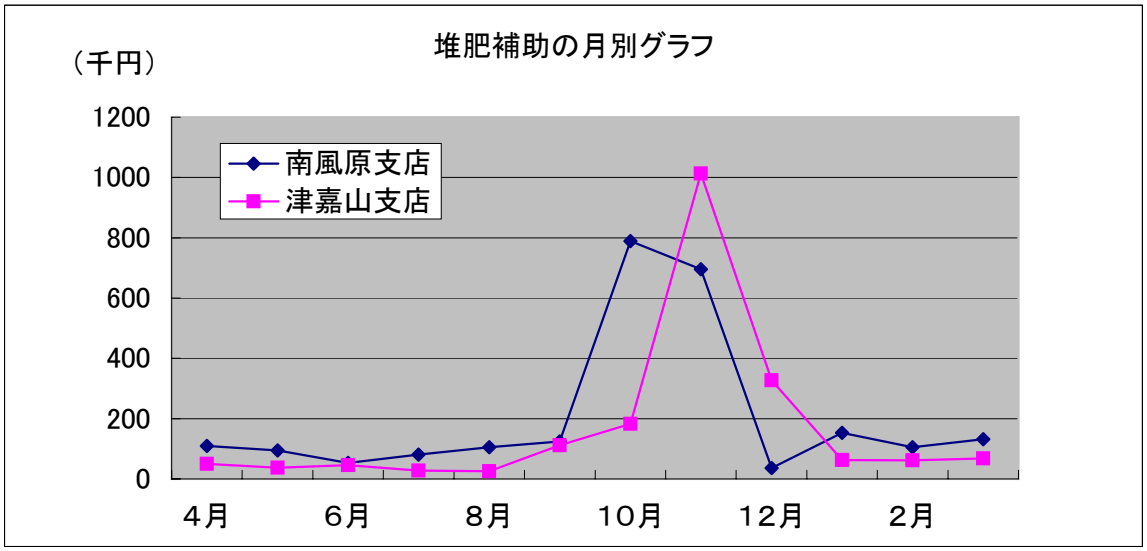
事業の実施内容

補助基準
・堆肥購入　　一袋（15kg）に対し50円の補助　　500万円
・緑肥種子の購入　　購入費の30％補助　　8万円

＜平成19年度の実績＞

☆堆肥補助
予算額　4，700千円　決算額　4，490千円

（内訳）
89，795袋×50円＝4，489，750円



☆緑肥種子
予算額　51千円　決算額　37千円

（内訳）
125，647円×30％≒37，494円

事業の成果

農作物を作る上で土づくりは大変重要なものであり、その購入補助は農家の負担を軽減し、生産意欲の向上につなげることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,751	4,527					4,527

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	畑地かんがい井戸設置補助事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農家	井戸設置に対する補助を行うことにより、畑地の利用を高め、作物の増産をはかります。

事業の実施内容

○農林業の生産向上を図るため、井戸を設置した経費に対して補助を行いました。

・畑地かんがい井戸設置補助金

予算額　　360千円　決算額　　358千円

【平成19年度の補助実績】

4件　　358，000円

○参考（設置費に対する補助限度額）

設　置　費	補助額（最高限度額）
10万円以上20万円未満	50，000円
20万円以上30万円未満	100，000円
30万円以上40万円未満	150，000円
40万円以上50万円未満	200，000円
50万円以上	250，000円

↑平成19年度に補助を受けて設置された井戸

事業の成果

補助金を交付することで、農家の負担を軽減し、畑地の利用を高め、作物の増産へ寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	360	358					358

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	畜産公害・環境保全対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	畜産事業	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	畜産農家	畜舎から生じる悪臭の抑制及び、畜舎を殺菌・消毒することにより家畜伝染病を予防します。

事業の実施内容

悪臭公害処理薬品代・消毒及び殺虫剤代

予算額	899千円
決算額	752千円

畜産総合対策補助金

予算額	545千円
決算額	545千円

【悪臭対策の処理事例】

有用微生物を、飼料に混ぜ込むことで糞の臭いが抑えられます。

有用微生物を、家畜の糞尿に混ぜ込むことで悪臭の発生を抑えることができます。
また、その糞で作った堆肥は臭いが少なく、畑周辺での堆肥臭の軽減も図られ、農家からも好評です。

事業の成果

悪臭防止薬品の購入費用の一部助成により、農家負担の軽減と悪臭防止が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,444	1,297					1,297

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	家畜伝染予防事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	畜産事業	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	畜産農家	家畜（牛・豚）の予防注射・検査を実施することにより、伝染病を防ぐことを目的とします。

事業の実施内容

○　豚・牛の予防注射の実施に対するワクチン代の1／2を助成しました。

消耗品費

予　算　額	323千円
決　算　額	260千円

1．予防注射の種類
　牛流行熱・イバラキ病混合ワクチン
　牛異常産3種混合ワクチン

2．検査の種類
　結核
　ブルセラ病

3．実施実績
　豚　・・・　0頭
　牛　・・・　347頭（9農家）

（参考）予防注射（検査）数実績

	豚	牛
平成16年度予防注射（検査）数	8，842頭	1，178頭
平成17年度予防注射（検査）数	8，806頭	1，093頭
平成18年度予防注射（検査）数	7，433頭	749頭

事業の成果

予防注射を行うことにより、家畜の伝染病の発生を防ぐことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,444	1,297				130	1,167

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	畜産振興対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	畜産業費	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	畜産関連団体	畜産振興のため畜産関連団体に対して負担金を支出します。

事業の実施内容

○畜産振興のため畜産関連団体に対して負担金を支出しました。

・負担金、補助金及び交付金

予算額	276千円
決算額	276千円

（内訳）

1. 沖縄県畜産会負担金　28千円
2. 沖縄県畜産共進会負担金　14千円
3. 南部地区畜産共進会負担金　29千円
4. 南部家畜人工授精センター負担金　176千円
5. 家畜診療所運営負担金　29千円

↑　畜産共進会の様子

事業の成果

共進会開催することで、家畜の改良と飼養管理技術の向上など、生産農家の日ごろの研鑽努力による改良成果を一堂に集め比較審査して披露し、今後の家畜改良の方向付けをするとともに、市場性のある家畜の生産を図りました。

また、人工授精センターでは優良種雄牛の凍結精液を管理し、良質な肉牛の普及を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	276	276					276

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	造林事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	林業費	02
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	林業振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	自然環境の保全・地球温暖化対策・地すべり防止等の機能を果たします。

事業の実施内容

○平成9年度～平成11年度造林事業として、新川・宮城・神里の1．67haに植栽されたソウシジュアカギ・モモタマナ・タブノキ・イスノキの保育のため普通下刈と施肥下刈を行いました。

・造林事業保育委託料

予算額　759千円　決算額　652千円

（内訳）
1回目：普通下刈委託料　333，900円
2回目：施肥下刈委託料　318，150円
委託料合計　652，050円

・消耗品費

予算額　94千円　決算額　22千円

・負担金、補助及び交付金

予算額　72千円　決算額　72千円

（内訳）県林業協会負担金　52千円
県緑化推進委員会負担金　20千円

↑下刈実施後の様子

↑下刈実施後の様子

事業の成果

都市化により緑が減少する中、植栽された木々によって環境保全、地球温暖化防止につなげることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	925	746		595			151

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業施設維持管理事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課/都市整備課	課長名	赤嶺 一男/真境名 元彦		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農地費	05

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民	農業施設を適正に維持管理することにより、農業の促進・振興を図ります。

事業の実施内容

○山川土地改良区のかんがい排水施設として、整備されたファムポンド周辺の斜面に崩落が発生し、農地及び農業用施設へ被害を及ぼす恐れがあったため、補修工事を行いました。

・山川地区ため池設計委託業務 予算額　278千円　　決算額　277千円

・ファームポンド斜面補修工事　予算額　2，100千円　　決算額　2，100千円

※上記事業については委託業務をまちづくり振興課で実施し、工事は都市整備課で実施しました。

工事着工前

工事完了後

※山川地区ファームポンド斜面補修工事においては、現場状況から対策工としてH鋼杭による抑止工と補強筋による法面保護工が考えられましたが、それぞれの工事数量を推定し、業者より仮見積もりを依頼した結果、補強筋工がはるかに安価であったため補強筋工を採用しました。

○その他の経費

・県土地改良事業団体連合会特別賦課　　予算額　210千円　　決算額　210千円

・農道台帳管理賦課金　　予算額　117千円　　決算額　116千円

事業の成果

農業施設を適正に維持管理することにより、農業の促進・振興に寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,705	2,703					2,703

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	労働者・退職者等支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	労働費	05
連絡先	889－4412				項	失業対策費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	失業対策費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	駐留軍等労働者の離職者など	沖縄における駐留軍等労働者の離職者対策事業、県内の雇用失業問題を改善し、新規雇用を創出します。また、障がい者や高齢者の就業支援事業へ出資をしています。

事業の実施内容

・沖縄駐留軍離職者対策センター補助金　予算額　140千円　決算額　140千円

（沖縄駐留軍離職者対策センター実績）					相談・紹介数（人）
再就職関係	職業紹介関係	職業訓練関係	生活相談関係	アスベスト関係	合計
3,516	751	537	1,371	151	6,326

・沖縄県雇用開発協会負担金　予算額　8千円　決算額　8千円

・（財）雇用開発推進機構賛助会費　予算額　5千円　決算額　5千円

事業の成果

離職者等の再就職、相談、福祉等に寄与しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	153	153					153

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	共同福祉施設運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済振興課　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	労働費	05
連絡先	889－4412				項	労働諸費	02
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	労働諸費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内に住む勤労者及び町内商工業者等	勤労者及び地域住民等の健康増進、福利厚生を図ります。

事業の実施内容

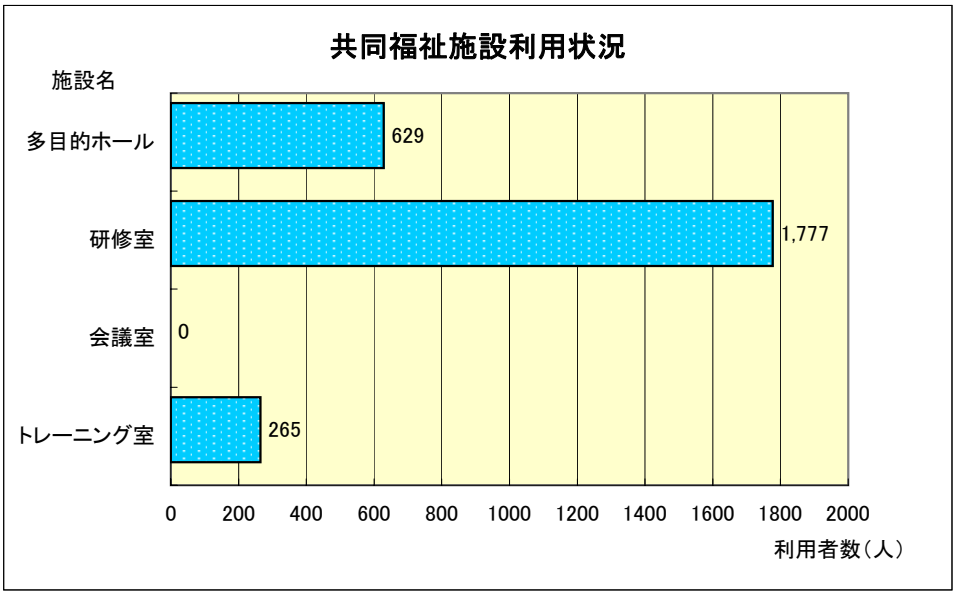
○勤労者福祉施設として設置された南風原共同福祉施設の管理運営を、指定管理者として南風原町商工会に施設の管理運営を委託しました。

・南風原共同福祉施設指定管理委託料　　予算額　1,750千円　　決算額　1，750千円

・需用費（修繕料）　　予算額　　60千円　　決算額　　60千円

平成19年度施設利用状況

利用状況 / 施設名	利用者数（人）		
	勤労者（被保険者）	一般	計
多目的ホール	629	－	629
研修室	1,777	－	1,777
会議室	0	－	0
トレーニング室	265	－	265
計	2,671	0	2,671



事業の成果

町内に住む勤労者、町内商工業者、地域住民の福祉及び健康増進に大きく寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,810	1,810					1,810

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	商工業振興事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	商工費	07
連絡先	889－4412				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内中小企業等	企業者が金融機関から融資を受ける際の、借入債務に対する補償業務を行う沖縄県信用保証協会に出資するこで、中小企業の振興と地域経済の活力ある発展に貢献します。

事業の実施内容

・沖縄県信用保証協会出捐金

予算額　1，600千円　決算額　1，600千円

・手数料

予算額　10千円　決算額　4千円

※「信用保証協会」は、中小企業者などに対する金融の円滑化を図ることを目的として信用保証協会法により設立された公的機関です。

●平成19年度信用保証協会による本町中小企業者の保証状況

単位:百万円、％

保証承諾						保証債務残高					
件数	金額	前年比		構成比		件数	金額	前年比		構成比	
		件数	金額	件数	金額			件数	金額	件数	金額
97	1,624	112.8	125.5	2	2.2	266	2,598	93.3	92.7	2.2	2.1

事業の成果

金融上の強力な「公共的保証人」である沖縄県信用保証協会に出捐することにより、中小企業の経営基盤の安定強化を図るための資金導入の確保を導きました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,600	1,600					1,600

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	商工会の育成強化			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	商工費	07
連絡先	889－4412				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町商工会	地域商工業、中小企業の経済活動を促進し、商工業の健全な発展を図り、以て地域産業振興と安定、地域経済の発展に資することを目的とします。

事業の実施内容

○南風原町商工会の事業強化、支援のため補助金の交付を行いました。また、県・国等の補助金等が入ってくる当面の間の資金繰りとして貸付を行いました。

・町商工会補助金　　予算額　7，560千円　決算額　7,560千円
・南風原町商工会貸付金　予算額　10，000千円　決算額　10，000千円

（平成19年度事業実績）

◆ 経営改善普及事業

①指導員による経営指導件数
巡回指導　972件　窓口指導　932件　創業指導　126件

②講習会等の開催
経営一般、税務講習等3回開催

③金融融資斡旋

	斡旋件数	貸付件数	貸付総額（千円）	斡旋総額（千円）
沖縄振興開発金融公庫	43	43	348,000	348,000
県融資制度	14	14	101,900	101,900
その他	0	0	0	0

④事務の代行

社会保険等	委託事業所数			従業員数	
	48			181	
各種共済加入者数	小規模企業共済	倒産防止共済	中小企業退職金共	商工貯蓄共済	はえばる商工共済
	100	27	181	120	0

⑤記帳継続指導

配分人数	員数	雇用延日数	指導延日数	対象事業者数
1	1	234	114	47

⑥講習会・講演会・相談会の実施
開催回数　10回　参加者数　353人

◆ 地域総合振興事業
・交流事業の開催　・永年勤続優良従業員の表彰

◆ 福利厚生対策事業の実施等々

事業の成果

南風原町商工会に対し補助金の交付を行い、指導・協力体制の強化を図ると共に、町内企業の育成、経営安定と振興、起業支援、労働者管理改善等を図った結果、地域経済の発展に貢献することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	17,560	17,560					17,560

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	琉球絣等伝統工芸事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	商工費	07
連絡先	889－4412				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	琉球絣事業協同組合など	南風原町の特産品である琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

○琉球絣事業協同組合が開催する後継者育成事業に対し補助金を交付しました。
※この事業には国、県からも補助があり、琉球絣事業協同組合も負担しました。

・琉球絣後継者育成事業補助金　　予算額　280千円　　決算額　280千円

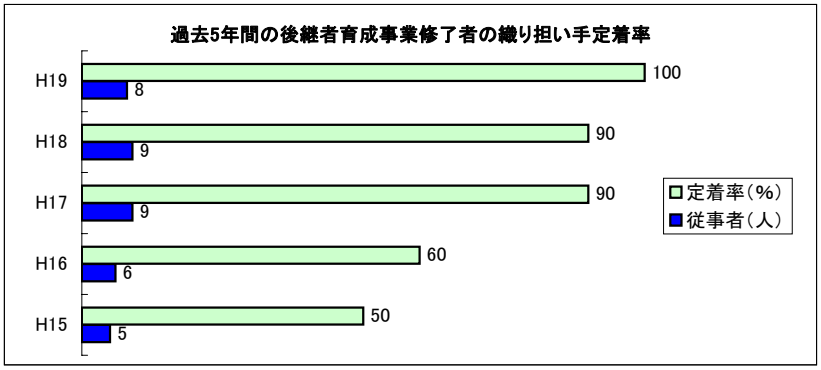
↑町長の話を聞く受講生

↑6ヶ月の研修で見事にできあがった反物

研修内容　：　機織りを中心に、染色、括りを行いました。研修終了後は業者の元で琉球絣を織る

受講者数及び修了後従事者数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	合計
修了者	10	10	10	10	8	48
従事者	5	6	9	9	8	37
定着率	50%	60%	90%	90%	100%	77%



○琉球絣事業協同組合が行う、研修派遣、販路開拓、宣伝活動、展示即売等の経費に対して補助金を交付しました。

・琉球絣事業協同組合への補助金　　予算額　3，663千円　　決算額3，663千円

○琉球絣事業協同組合は、国、県、町の補助金と組合員の会費でその運営を行っていますが、その補助金等が入ってくるまでの運用資金（生産者への製品である反物代金等）として資金の貸付を行いました。

・琉球絣事業協同組合貸付金　　予算額　15，000千円　　決算額15，000千円

事業の実施内容

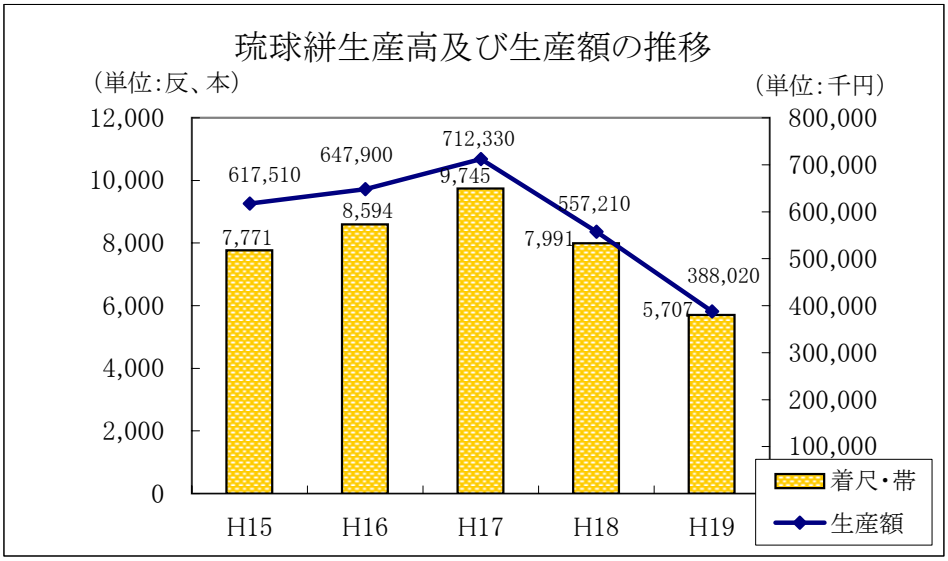
○その他負担金
・沖縄工芸ふれあい広場事業負担金　　予算額　197千円　　決算額　197千円
・(財)伝統的工芸品産業振興協会費　　予算額　50千円　　決算額　50千円

○琉球絣・南風原花織の品質の維持改善、開発及び生産技術の向上や、技術者や技能者及び後継者の育成に関する事など伝統工芸品等の発展のため、学識経験者等で構成する審議会を開催しました。

・琉球絣振興審議会委員等報酬　　予算額　79千円　　決算額　59千円
・琉球絣振興審議会委員費用弁償　　予算額　16千円　　決算額　12千円
・琉球かすりの女王謝礼金　　予算額　40千円　　決算額　0千円
・修繕費　　予算額　60千円　　決算額　57千円

単位:反・本・千円

	H15	H16	H17	H18	H19
着尺・帯	7,771	8,594	9,745	7,991	5,707
生産額	617,510	647,900	712,330	557,210	388,020
対前年比	0.5%	4.9%	9.9%	-21.8%	-30.4%



事業の成果

後継者育成事業の修了者は引き続き各事業所の織りの担い手となり、かすり生産高安定に寄与することができました。また、平成18年度と比較して、かすりの生産においては受注生産が減少し、生産環境は厳しい面がありますが、補助や貸付を行うことによって、琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,385	19,318					19,318

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	まちづくり推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	総務費	02
連絡先	889－4412				項	総務管理費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	地域づくり推進事業費	12

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民等	町内で住みよいまちづくり活動を行う団体等に補助金を交付することにより、やすらぎのあるまちづくり、明るい豊かなまちづくりを目指します。

事業の実施内容

○「明るい豊かな南風原づくり」・未来の子ども達に誇れる街づくりのために活動を行っている「好きです南風原・夢・未来委員会」へ補助金を交付しました。

・好きです南風原・夢・未来委員会補助金　予算額　490千円　　決算額　490千円

↑・平成20年1月に行われた「新春飛び安里凧揚げ大会」の様子。↑

○花と緑につつまれたやすらぎのあるまちづくりを推進するため、道路に面した場所に生け垣をつくる個人等に助成金を交付しました。

・みどりとやすらぎのあるまちづくり助成金　予算額　200千円　　決算額　100千円

※平成19年度に実施した例

経　過

・助 成 箇 所:南風原町字本部229番1
・実 施 時 期:平成19年6月～平成20年2月28日
・事　業　費:230千円
(230千円×0.7＝170千円＞100千円)
・助　成　額:100千円(限度額)

事業の成果

花と緑の緑化を植栽する事で、地域の環境をより一層快適にする事ができ、明るい豊かなまちづくり寄与できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	690	590				590	0

平成19年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	観光事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	赤嶺　一男		款	商工費	07
連絡先	889－4412				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	観光推進に係る団体等	各種団体等に負担金を支出することで、沖縄県の観光振興に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

○沖縄県の外来客訪促進計画に規定する国際観光テーマ地区における訪日外国人旅客者受入の促進体制を一体的に整備し、魅力あるテーマ地を形成していく協議会へ負担金を支出しました。

・ｻｻﾞﾝｵｷﾅﾜ国際観光テーマ地区推進協議会負担金　予算額　20千円　　決算額　20千円

○沖縄県の観光振興対策及び関連公共施設などの整備、国等への陳情、各種情報の収集、提供、調査研究、会員との連絡調整、その他必要な事業を行う協議会への負担金

・沖縄県地域振興対策協議会観光振興部会負担金　　予算額　62千円　　決算額　62千円

○沖縄県の観光コンベンションの振興に努め、観光沖縄の更なる発展を目指し、官民一体となり諸施策事業を行っているコンベンションビューローに負担金を支出しました。

・沖縄観光コンベンションビューロー負担金　　予算額　150千円　　決算額　150千円

事業の成果

観光沖縄における外来客訪促進、観光関連公共施設整備など沖縄県の観光振興に大きく寄与しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	232	232					232